

# 月例統計報告（平成28年8月）

平成28年9月5日  
企画振興部

## 1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（平成28年8月1日現在））

本県の総人口は、1,011,410人（男 474,201人 女 537,209人）  
前月に比べ、738人（0.07%）減少した。  
自然動態 624人の減少（出生者 469人 死亡者 1,093人）  
社会動態 114人の減少（県内への転入者 985人 県外への転出者 1,099人）  
この1年間では、13,415人（1.31%）の減少となる。

## 2 秋田県経済の動き

### (1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（平成28年6月分））

秋田県鉱工業生産指数（平成22年=100）  
季節調整済指数 100.1 : 前月比 2.8%上昇（3か月振りの上昇）  
原指数 101.4 : 前年同月比 1.6%上昇  
全国の鉱工業生産指数（平成22年=100）  
季節調整済指数 96.9 : 前月比 2.3%上昇

### (2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（平成28年6月分））

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出  
現金給与総額 359,643円 : 前月比 62.0%増、前年同月比 1.4%減  
総実労働時間 156.6時間 : 前月比 9.3%増、前年同月比 0.4%増  
常用雇用指数 97.6（平成22年=100）  
: 前月比 0.4%増、前年同月比 2.2%増

### (3) 物価動向（消費者物価指数（平成28年6月分））

秋田市消費者物価指数 103.3（平成22年=100）  
前月比0.3%下落、前年同月比0.6%下落  
全国の消費者物価指数 103.3（平成22年=100）  
前月比0.2%下落、前年同月比0.4%下落

### (4) 景気動向（景気動向指数（平成28年6月分））

先行指数 84.9 前月を0.6ポイント下回り、3か月連続で下降  
一致指数 116.6 前月を0.8ポイント上回り、3か月連続で上昇  
遅行指数 102.5 前月を1.4ポイント上回り、3か月振りに上昇

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報)(平成28年8月1日現在)」)

(1) 平成28年8月1日現在の本県の総人口は、1,011,410人(男 474,201人 女 537,209人)で、前月に比べ738人(0.07%)減少した。

自然動態 624人の減少(出生者 469人 死亡者 1,093人)

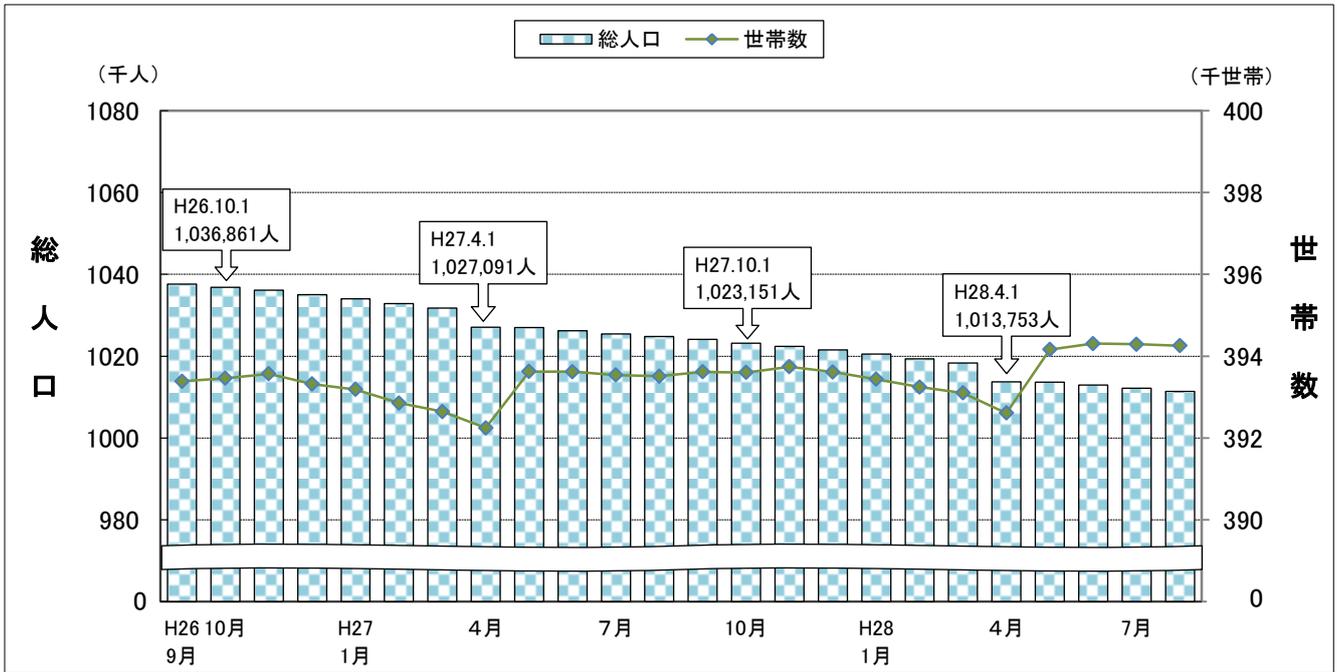
社会動態 114人の減少(県内への転入者 985人 県外への転出者 1,099人)

(2) この1年間では、13,415人(1.31%)の減少となる。

自然動態 9,285人の減少(出生者 5,765人 死亡者 15,050人)

社会動態 4,130人の減少(県内への転入者 13,428人 県外への転出者 17,558人)

(3) 世帯数は394,256世帯で、前月に比べ35世帯減少した。



○自然動態と社会動態の推移

年月	自然動態			社会動態			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
H26.10.1 ~ H27.9.30	5,988	14,909	-8,921	12,959	17,748	-4,789	-13,710
H27. 8月 一か月間	507	1,186	-679	1,097	1,157	-60	-739
9月 "	489	1,134	-645	937	1,227	-290	-935
10月 "	469	1,347	-878	1,021	896	125	-753
11月 "	454	1,253	-799	652	743	-91	-890
12月 "	458	1,311	-853	703	859	-156	-1,009
H28. 1月 "	491	1,460	-969	615	805	-190	-1,159
2月 "	465	1,287	-822	707	911	-204	-1,026
3月 "	506	1,276	-770	2,421	6,212	-3,791	-4,561
4月 "	453	1,259	-806	2,513	1,788	725	-81
5月 "	532	1,266	-734	948	948	0	-734
6月 "	472	1,178	-706	829	913	-84	-790
7月 "	469	1,093	-624	985	1,099	-114	-738
過去1年間の累計	5,765	15,050	-9,285	13,428	17,558	-4,130	-13,415

(参考)

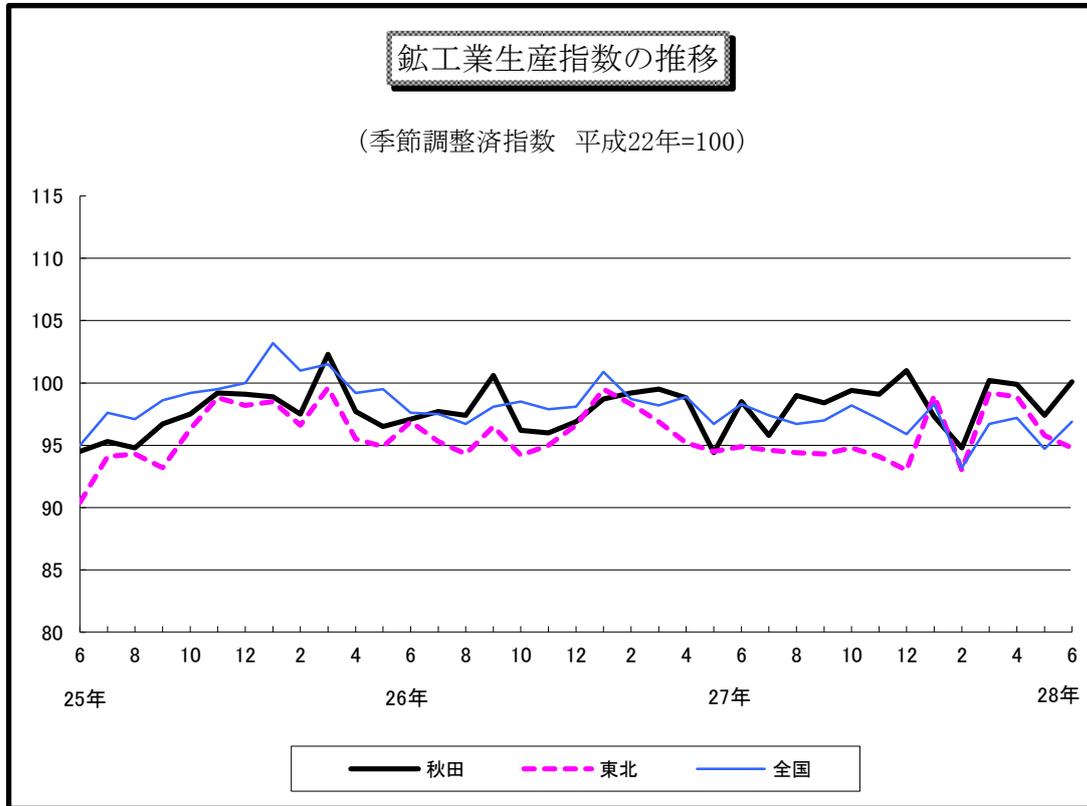
H27. 7月 一か月間	538	1,113	-575	994	1,040	-46	-621
--------------	-----	-------	------	-----	-------	-----	------

## 2 秋田県経済の動き

### (1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(平成28年6月分)」)

平成28年6月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が100.1で前月比2.8%上昇し、3か月振りの上昇となった。また、原指数は101.4で前年同月比1.6%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は96.9で前月比2.3%の上昇となり、東北は94.8で、前月比1.0%の低下となった。



### ○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	寄与率(%)	主な品目名
<b>□上昇した主な業種</b>				
その他工業	164.7	▲ 21.5	79.1	パッキン類、一般製材
パルプ・紙・紙加工品工業	90.9	▲ 36.3	33.2	段ボール原紙、コート紙
非鉄金属工業	135.8	▲ 6.9	13.7	電気銅、電気金
<b>□低下した主な業種</b>				
食料品工業	66.0	▲ 4.8	▲ 7.7	清酒
電子部品・デバイス工業	106.1	▲ 0.5	▲ 6.6	モス型メモリ、機能部品
はん用・生産用・業務用機械工業	107.2	▲ 0.5	▲ 2.4	医療用具、産業用ロボット

※「寄与率」は、鉱工業総合指数の上昇または低下に対し、各業種のうちどの業種がどれだけ全体に影響を与えたかを構成比で示したものである。

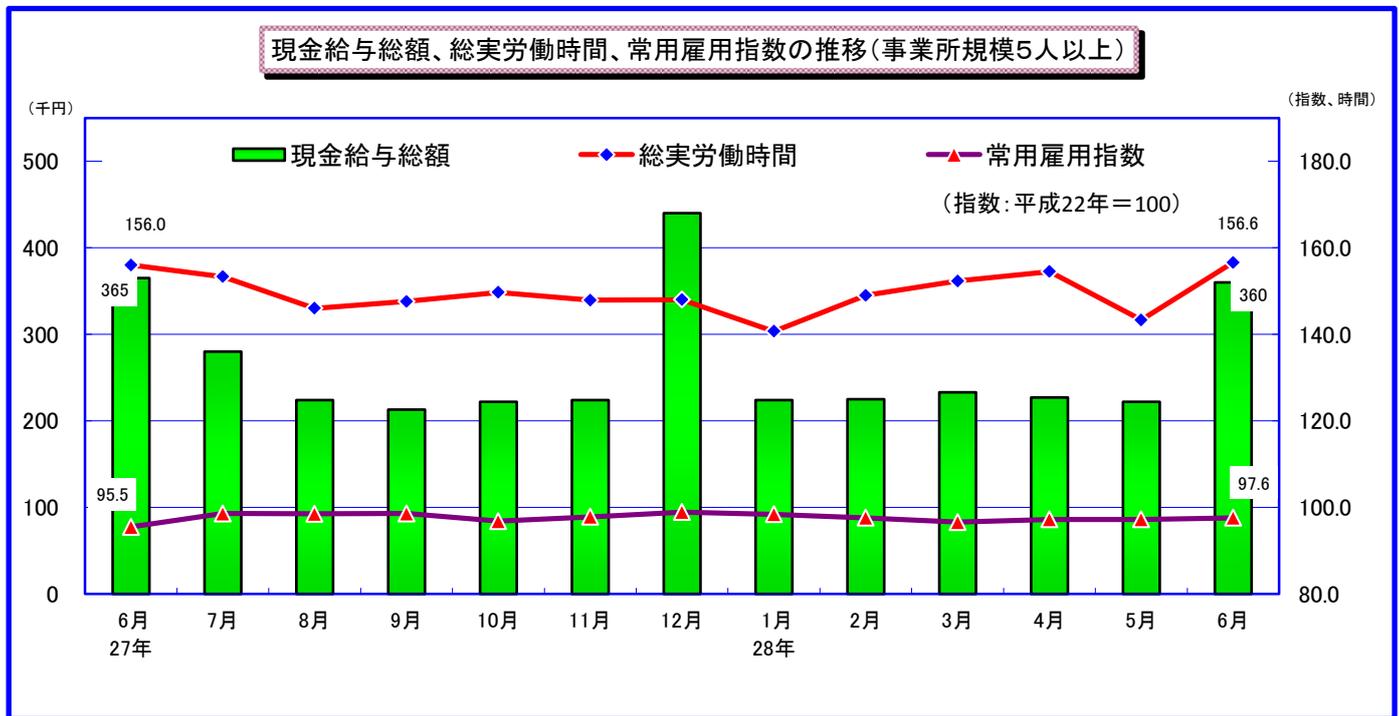
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(平成28年6月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

平成28年6月の現金給与総額は、359,643円となり、前月比62.0%の増、前年同月比1.4%の減となった。

総実労働時間数は156.6時間で、前月比9.3%の増、前年同月比0.4%の増であった。

常用雇用指数は97.6で、前月比0.4%の増、前年同月比2.2%の増となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額(±5%以上)

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
宿泊業, 飲食サービス業	137,920	33.9
情報通信業	960,621	27.8
複合サービス事業	443,038	19.9
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
製造業	256,132	▲ 24.3
教育, 学習支援業	769,022	▲ 10.7
運輸業, 郵便業	338,939	▲ 8.9

2 総実労働時間(±5%以上)

増加した主な産業	時間	前年比(%)
情報通信業	179.7	8.1
宿泊業, 飲食サービス業	125.7	6.9
卸売業, 小売業	147.2	6.1
減少した主な産業	時間	前年比(%)
生活関連サービス業, 娯楽業	136.9	▲ 8.2
運輸業, 郵便業	177.8	▲ 6.2

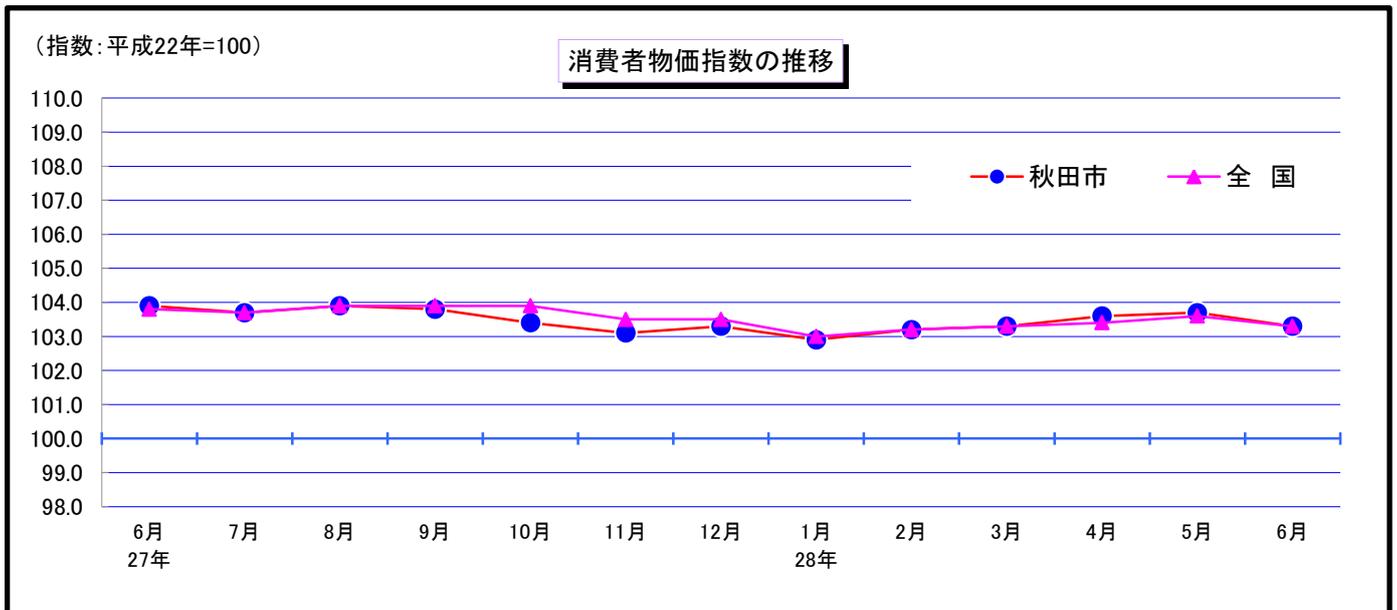
3 常用雇用指数(±5%以上)

増加した主な産業	指数	前年比(%)
製造業	91.0	18.5
学術研究, 専門・技術サービス業	109.3	5.4
運輸業, 郵便業	102.4	5.2
減少した主な産業	指数	前年比(%)
サービス業	76.7	▲ 6.0
宿泊業, 飲食サービス業	86.4	▲ 5.7

(3) 物価動向(「消費者物価指数(平成28年6月分)」)

平成28年6月の秋田市消費者物価指数は103.3(平成22年=100)となり、前月比0.3%下落 前年同月比0.6%下落。

また、全国の消費者物価指数は103.3となり、前月比は0.2%下落 前年同月比0.4%下落。



10大費目指数の動き(平成22年=100):秋田市

	総合	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費		
		生鮮食品を除く総合	持ち家の購入を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合										生鮮食品	
当月指数	103.3	103.0	104.4	102.5	107.2	110.1	99.7	102.0	96.4	111.7	103.5	100.4	109.2	99.3	110.1
前月比(%)	-0.3	-0.1	-0.3	-0.1	-0.5	-4.4	-0.2	-0.7	-2.4	0.3	0.9	0.1	0.0	-0.4	0.0
前年同月比(%)	-0.6	-0.6	-0.6	1.0	1.1	-0.2	0.8	-10.6	-0.2	5.2	2.2	-3.4	1.8	0.7	1.2

○総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食料	菓子類	5.9	0.15
被服及び履物	洋服	9.0	0.16
住居	設備修繕・維持	15.9	0.19

〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
光熱・水道	他の光熱	▲31.3	▲0.60
交通・通信	自動車等関係費	▲5.5	▲0.50
家具・家事用品	家庭用耐久財	▲5.9	▲0.06

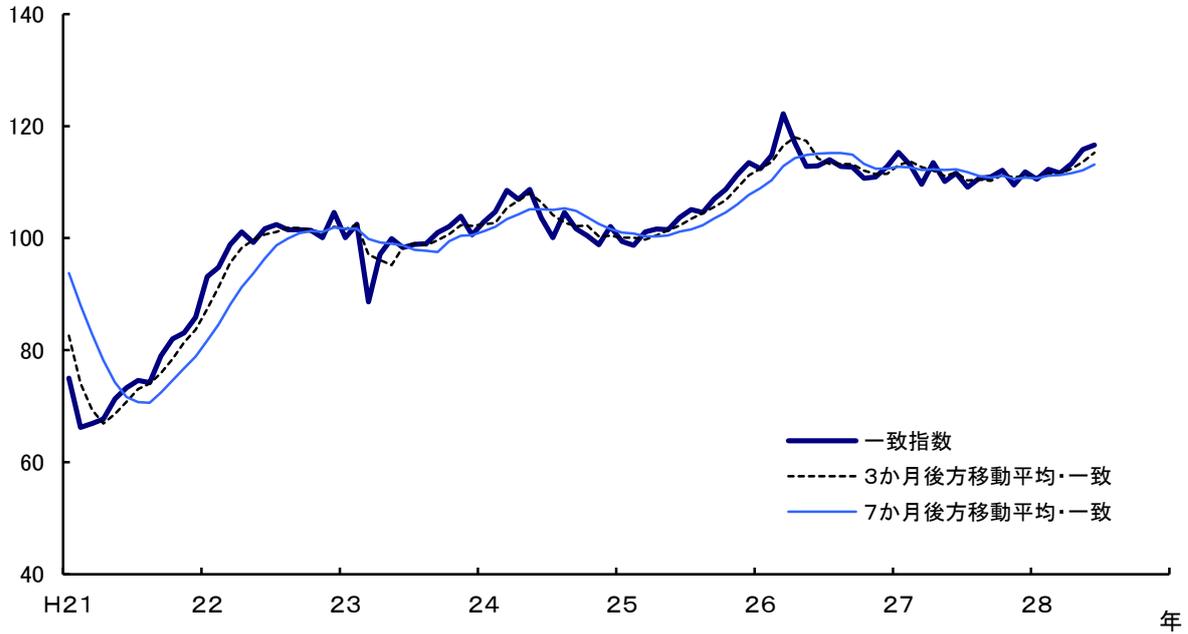
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(平成28年6月分)」)

先行指数 84.9 前月を0.6ポイント下回り、3か月連続で下降した。  
 一致指数 116.6 前月を0.8ポイント上回り、3か月連続で上昇した。  
 遅行指数 102.5 前月を1.4ポイント上回り、3か月振りに上昇した。

一致指数のグラフ

(平成22年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.18	1.18	0.00	-0.45
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	-2.4	-7.3	-4.90	0.87
所定外労働時間指数(22年=100)	74.3	74.9	0.81%	0.18
鉱工業生産指数(22年=100)	97.4	100.1	2.77%	0.79
生産財生産指数(22年=100)	104.6	109.4	4.59%	0.97
百貨店・スーパー販売額(%)	-1.0	-3.4	-2.40	-0.48
投資財生産指数(22年=100)	97.1	95.0	-2.16%	-0.26
建築着工床面積(千㎡)	76	63	-17.11%	-0.81
CI 一致指数(全体値)	115.8	116.6	0.8	

## 景況ダイジェスト（平成28年8月）

対 象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容																			
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 平成28年7月15日公表	<p>【概況】県内景気は、生産面の一部に新興国経済の減速の影響が見られるものの、基調としては緩やかな回復を続けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産は、下げ止まっている。</li> <li>・需要面をみると、公共投資は、持ち直している。住宅投資は、下げ止まっている。設備投資は、全体として増加している。個人消費は、全体としては堅調に推移している。</li> <li>・雇用・所得環境は、改善している。</li> <li>・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を幾分下回った。</li> </ul>																			
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用緊急対策本部 （産業政策課） 平成28年6月分 平成28年8月16日公表	<p>【概況】県内経済は、個人消費は基調としては堅調に推移し、製造業は全体としては横ばいの動きとなっており、雇用は高水準で推移している。</p> <p>製 造 業：医療機器など一部で好調に推移しているものの、新興国経済の影響等が引き続き見られ、全体としては横ばいの動きとなっている。</p> <p>建 設 業：公共投資は2か月ぶりに前年同月を上回った。</p> <p>小 売 業：全体としては、横ばいの動きとなっている。</p> <p>サ-ビス業：一部でやや弱含みの動きが見られるものの、基調としては堅調に推移している。</p> <p>[全業種] DI 値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲3.9から▲7.1、現在の資金繰りは▲10.5から▲15.0、3か月前の業況見通しは、3.2から1.3となっている。</p>																			
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 平成28年6月分 平成28年8月号	<p>【概況】県内経済は、一部に持ち直しの動きが見られるが、総じて足踏み状態が続いている。電子部品の生産は新興国経済減速の影響から弱含みの動きが強まっているほか、木材も低調な動きとなっている。建設は、住宅着工は持ち直しの動きが続いているが、公共工事は減少基調にある。個人消費は持ち直しの動きに足踏みが見られる。雇用情勢は改善基調にあるものの、一部業種で逼迫感が強い状況が続いている。</p>																			
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 平成28年7、8月合併号	<p>【県内経済概況】足踏み感が色濃く残るものの、一部の持ち直しの動きが続く県内経済 最近の県内経済は、足元の個人消費は大型小売店販売の増加などで総じてみれば上向き傾向にあり、住宅投資が増加傾向で推移し、公共投資は減少となったものの増加基調を維持するなど、需要面には持ち直しが見られます。この間、生産活動は主力の電子部品が依然減速傾向にあり、全体としても一進一退の状況ながら、雇用情勢の改善が続くなど、県内経済は足踏み感が色濃く残るものの、一部の持ち直しの動きが続いています。</p>																			
	秋田県内の一般職業 紹介状況について 秋田労働局職業安定部 平成28年7月分 平成28年8月30日公表	<p>【概況】平成28年7月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人倍率（季節調整値）は1.22倍となり、前月を0.04ポイント上回った。（全国平均1.37倍、前月と同じ水準） 有効求人数（季節調整値）は前月比2.8%増加、有効求職者数（同）は0.8%減少した。 雇用保険受給者実人員は、前年同月に比べ10.6%減少となり、同比38か月連続で減少した。 県内の雇用失業情勢は、改善の動きが続いている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新規求人数は9,084人、前年同月比2.4%（213人）増加。同比2か月振りで増加した。</li> <li>② 有効求人数は21,581人、前年同月比3.0%（621人）増加。同比31か月連続で増加した。</li> <li>③ 新規求職者数は3,857人、前年同月比18.3%（863人）減少。同比36か月連続で減少した。</li> <li>④ 有効求職者数は17,613人、前年同月比9.4%（1,832人）減少。同比79か月連続で減少した。</li> </ol>																			
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 平成28年7月度 平成28年8月2日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: small;">（負債額1,000万円以上の企業倒産）</td> <td style="text-align: center;">倒産件数</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: center;">負債総額</td> <td style="text-align: center;">10億300万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">前年同月比</td> <td style="text-align: center;">+66.66%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">+96.66%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">前年同月</td> <td style="text-align: center;">3件</td> <td></td> <td style="text-align: center;">5億1,000万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">前年同月比で件数は2件増、負債額は大幅増</td> </tr> </table>	（負債額1,000万円以上の企業倒産）	倒産件数	5件	負債総額	10億300万円		前年同月比	+66.66%		+96.66%		前年同月	3件		5億1,000万円		前年同月比で件数は2件増、負債額は大幅増		
（負債額1,000万円以上の企業倒産）	倒産件数	5件	負債総額	10億300万円																	
	前年同月比	+66.66%		+96.66%																	
	前年同月	3件		5億1,000万円																	
	前年同月比で件数は2件増、負債額は大幅増																				

県	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 平成28年7月分 平成28年8月12日公表	[業界判断指数]単位：%P	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況		
		6月分DI	-30.0	-15.6	-39.5	-31.3	-31.2		
		7月分DI	-31.3	-15.6	-41.6	-43.8	-30.0		
		比較増減	-1.3	0.0	-2.1	-12.5	1.2		
	県内	秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 平成28年7月分 平成28年8月10日公表	対前年度増減率 件数0.9%増、請負金額45.1%減 (金額単位：百万円)						
			発注者 区分	平成27年7月		平成28年7月		対前年度伸率(%)	
				件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
			国	38	2,647	39	3,195	2.6	20.7
			独立行政法人等	3	118	0	0	-	-
			県	137	3,747	133	2,938	-2.9	-21.6
市町村			143	15,123	149	4,969	4.2	-67.1	
地方公社			0	0	0	0	-	-	
その他※			2	62	5	820	150.0	1,220.8	
合計			323	21,698	326	11,922	0.9	-45.1	
※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者									
東	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 平成28年8月2日公表	項目	内容						
		総括判断	県内経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかな持ち直しの動きが見られる						
		個人消費	緩やかな持ち直しの動きに足踏みが見られる						
		住宅建設	前年を上回っている						
		設備投資	28年度は減少見通し						
		公共事業	前年度を上回っている						
		生産活動	一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している						
		企業収益	28年度は減益見通し						
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小している						
		雇用情勢	緩やかに改善している						
東北	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 平成28年8月2日公表	項目	内容						
		総括判断	管内経済は、回復しつつある						
		個人消費	一部に弱さが見られるものの、回復しつつある						
		住宅建設	前年を上回っている						
		設備投資	28年度は増加見通し						
		公共事業	高水準となっている						
		生産活動	緩やかに持ち直しつつある						
		企業収益	28年度は増益見通し						
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小						
		雇用情勢	改善している						
全国	月例経済報告 内閣府 平成28年8月 平成28年8月24日公表	景気は、このところ弱さも見られるが、緩やかな回復基調が続いている。 ・個人消費は消費者マインドに足踏みが見られるなか、おおむね横ばいとなっている。 ・設備投資は、持ち直しの動きが見られる。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、横ばいとなっている。 ・企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みが見られる。企業の業況判断は慎重さが増している。 ・雇用情勢は、改善している。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済で弱さが見られており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。また、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。さらに、平成28年(2016年)熊本地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。							
		企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 6月調査分 平成28年7月1日公表	[業況判断DI]	〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計	
			単位：%ポイント	製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業	
			2016 / 3月	6	22	-4	4	7	
			2016 / 6月	6	19	-5	0	4	
			変化幅	0	-3	-1	-4	-3	